

2022（令和4）年度

大学院総合医理工学研究科
（博士課程）

医学系専攻 保健学分野

学生募集要項

信州大学では、インターネットを利用した出願を実施しています。
出願方法等は、本学サイトを必ず確認してください。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/grad/admission/01.php>

新型コロナウイルス感染症の影響により本要項の記載内容に変更が生じた場合は、ホームページでお知らせしますので、必ず最新の情報を確認してください。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/sogoiriko/admission/medical-sciences/#hls>

信州大学

信州大学大学院受入れの方針

信州大学大学院は、以下のような能力や意欲を備えた人たちを積極的に受け入れます。

- ・幅広い教養と専攻する分野の専門知識を持ち、さらに高度な専門的知識・専門応用能力を修得したい人
- ・知的好奇心が旺盛で、専門的課題や地域社会の抱える課題に主体的に取り組む人
- ・深い知性、論理的な思考力、豊かな人間性を備え、様々な分野でリーダーシップを発揮し、活躍したい人
- ・社会・環境・国際問題に関心をもち、創造力を活かし、グローバルに活躍したい人
- ・職業経験から獲得した知識・技能を高度化、深化させたい人

総合医理工学研究科（博士課程）医学系専攻 保健学分野受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【求める学生像】

医学系専攻では、研究科及び専攻の教育目標に則り、次のような能力や意欲を備えた人を受け入れます。

1. 医学分野もしくは保健学分野における科学的、倫理的、独創的な観点に基づき、基礎的あるいは臨床的研究を通して、疾病の予防・治療、健康長寿、クオリティ・オブ・ライフの向上に寄与することに対して情熱を有する人
2. 高い倫理観と科学性、学際的な幅広い視野に立って、保健・医療・福祉の領域で高度専門医療職者としてリーダーシップをとることに意欲のある人

【入学者選抜の基本方針】

<保健学分野>

上記の素養を持つ学生を選抜するために、自身の研究成果を国際学会や英文雑誌を通して世界に発信するのに必要な基礎学力を学力（英語筆記）試験により評価し、入学の目的や将来の志望に向けた熱意（態度）、および科学的思考と論理的な表現力を口述（面接）試験により評価します。

インターネット出願について

信州大学では、インターネットを利用した出願方法を導入しています。
(<https://www.shinshu-u.ac.jp/grad/admission/01.php>) (本学ホームページ／入試情報／大学院入試案内／インターネット出願)

インターネット出願サイトでは出願登録のほか、受験票の印刷、受験者心得などの案内の連絡も行います。

登録後にアクセスする必要がありますので、IDとパスワードを記録しておいてください。

◎ 出願から試験当日までの流れ

① 学生募集要項の確認

学生募集要項 (PDF) は、本学ホームページからダウンロード・印刷し、よく読んで出願登録を行ってください。

② 出願情報の登録

出願サイトへはパソコンやスマートフォン等からアクセスし、画面の指示に従い入力してください。出願期間の一週間前から事前登録が可能です。

③ 出願情報の確認

出願サイトから出願確認票 (本人控え) を印刷し、登録内容に誤りがないことを確認してください。

④ 顔写真のアップロード

出願サイトにスマートフォンやデジタルカメラ等で撮影した顔写真をアップロードしてください。

⑤ 入学検定料の支払い

「入学検定料支払メール」の記載事項に従い、入学検定料を支払ってください。コンビニエンスストア、クレジットカード、銀行 ATM (Pay-easy での支払い)、ネットバンキングのいずれかで支払いが可能です。

⑥ 「出願確認票 (大学提出用)」の印刷

出願サイトから「出願確認票 (大学提出用)」を印刷してください。

⑦ 出願書類の提出 (大学への郵送)

⑥で印刷した「出願確認票 (大学提出用)」とその他募集要項で指定する出願書類を、出願期間内に大学へ提出してください。

⑧ 「受験票」と「受験者心得」の印刷

「受験番号お知らせメール」を受信後、出願サイトから「受験票」を印刷してください。また、このメールに記載のURLから<受験者心得>にアクセスし、該当する研究科専攻の注意事項を印刷・熟読してください。

「受験者心得」には、試験場への交通案内、当日の集合 (入室) 時刻、注意事項など受験に必要な情報を記載します。必ず印刷し、試験当日に受験票とともに持参してください。

1. 専攻・分野・ユニット及び募集人員

| 専攻 | 分野 | ユニット | 学位 | 募集人員 |
|-----|-----|--------|-------------|------|
| 医学系 | 保健学 | 母子保健学 | 博士 (保健学) | 6人 |
| | | 成人保健学 | | |
| | | 老年保健学 | | |
| | | 医療生命科学 | | |

2. 出願資格

医学系専攻保健学分野の出願資格を有する方は、看護師、助産師、保健師、臨床検査技師、理学療法士又は作業療法士等の資格を持ち、かつ、次の各号の一に該当する方とします。

- (1) 修士の学位若しくは専門職学位を有する方又は令和4年3月までに授与される見込みの方
- (2) 外国において修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された方又は令和4年3月までに授与される見込みの方
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された方又は令和4年3月までに授与される見込みの方
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された方又は令和4年3月までに修了し、授与される見込みの方
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された方
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、本研究科において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた方
- (7) 文部科学大臣の指定した者《平成元年文部省告示第118号…【注】参照》
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた方で、令和4年3月31日までに24歳に達する方

【注】文部科学大臣の指定した者とは、次の各号のいずれかに該当する方です。

- 一 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- 二 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

3. 入学資格審査

『2. 出願資格(6)～(8)』により出願しようとする方は、事前に信州大学医学部大学院係へ問い合わせのうえ、次の手続きを行い、入学資格審査を受け、認定された後に出願してください。

(1) 入学資格審査申請書類受付

受付期間 令和3年6月14日(月)～6月18日(金)

(郵送の場合は簡易書留郵便とし、受付期間内に必着とする。)

受付時間 9時～17時

提出先 信州大学医学部大学院係

〒390-8621 松本市旭3丁目1番1号

(2) 申請書類 (※印は本分野所定の用紙)

①出願資格 (7) に該当する方

| | |
|------------------|---|
| ※入学資格審査申請書 (様式7) | 必要事項を記入してください。 |
| ※志望理由書 (様式2) | 本分野を志望する理由及び入学後の研究志望の概要を記入してください。 |
| ※研究歴証明書 (様式8) | 大学, 研究所等において研究に従事した期間を証明するもの |
| ※研究業績目録 (様式9) | 著書, 学術論文, 学術講演, 学術報告, 特許等があれば別刷り又は証明できる書類のコピーを添付してください。 |
| 最終学歴に関する証明書 | 出身大学の卒業証明書及び成績証明書 (厳封したもの) |

②出願資格 (6), (8) に該当する方

| | |
|------------------|--|
| ※入学資格審査申請書 (様式7) | 必要事項を記入してください。 |
| ※志望理由書 (様式2) | 本分野を志望する理由及び入学後の研究志望の概要を記入してください。 |
| 在職期間等の証明書 | 在職期間及び職種について, 勤務先の所属長が作成したもの (様式任意) |
| ※研究業績目録 (様式9) | 著書, 学術論文, 学術講演, 学術報告, 特許等があれば別刷り又は証明できる書類のコピーを添付してください。 |
| 学修に関する資料 | 出身大学のカリキュラムが確認できるもの |
| 最終学歴に関する証明書 | 出身大学の卒業 (修了) 証明書及び成績証明書 (厳封したもの) 出願資格 (6) に該当する方は, 合格証明書 (当該審査における合格基準等の資料を含み, 出身大学が作成したもの) |

(3) 資格審査

入学資格審査は, 提出された申請書類における職歴, 研究歴, 研究業績等を総合的に勘案して行います。

(4) 結果通知

審査の結果は, 令和3年6月25日 (金) に本人あてに通知書を送付します。入学資格を認定された方は, 出願手続を行ってください。

4. 出願手続

(1) 出願受付期間

- ・持参の場合

令和3年7月20日 (火) ~30日 (金)

受付時間 9時~17時

(ただし, 土曜日, 日曜日及び祝日は受け付けません。)

- ・郵送の場合

簡易書留郵便とし, 出願期間内に必着とする。

(2) 出願書類等提出先

信州大学医学部大学院係 〒390-8621 松本市旭3丁目1番1号

(3) 出願方法

以下の①から③までの手続を行ってください。

※インターネット出願サイトへの登録だけでは、出願は完了しません。出願期間内に必要書類を郵送することで完了します。

①インターネット出願サイトに出願情報の登録（写真のアップロードを含む。）

画面の指示に従い、必要事項を入力してください。

②入学検定料の支払い

入学検定料 30,000円

※コンビニエンスストア、銀行 ATM (Pay-easy での支払い)、ネットバンキング、クレジットカード (VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club) のいずれかで入学検定料の支払いが可能です。

※入学検定料の他に、別途必要な支払手数料は志願者負担となります。

※銀行窓口での支払いはできません。

※コンビニエンスストアに設置されている ATM での支払いはできません。

※コンビニエンスストアでの支払いは現金のみです。電子マネーやクレジットカードは利用できません。

③必要書類等の提出（郵送又は持参）

「(4) 出願書類等」を参照し必要書類をすべて揃え、入試事務室へ出願期間内に提出してください。

郵送する場合は市販の角形2号封筒(240mm×332mm)に入れ、その封筒にインターネット出願サイトから印刷した「宛名ラベル」を貼り、簡易書留速達郵便で郵送してください。

(4) 出願書類等（※印は本分野所定の用紙）

① インターネット出願登録後、申込み確認ページから印刷する書類等

※ 印字されている内容に誤りがないか、必ず確認してください。内容に誤りがある場合は朱書きで訂正し提出してください。

| 出願書類等 | 書類の説明 |
|--------------------|--|
| 出願確認票 (大学提出用) | A4 サイズの用紙に印刷してください(白黒印刷可)。 |
| 宛名ラベル 【郵送の場合のみ】 | 郵送により提出する場合、印刷したものを市販の角形2号封筒(240mm×332mm)に貼り付け、出願書類を入れて郵送してください。 |

② 出願サイトでアップロードが必要なもの（郵送による提出不要）

| 出願書類等 | 書類の説明 |
|-------|--|
| 写真 | インターネット出願登録後、登録完了メールに記載されているリンク先から、志願者本人の写真(出願3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向き、背景なしのもの)のアップロードを行ってください。 |

③ 本専攻のWEBサイトからダウンロード・印刷して準備する書類

| 出願書類等 | 書類の説明 |
|------------|---|
| 履歴書(様式1) | 高等学校卒業から現在に至る経歴(国家試験合格を含む。)を年次に従い、もれなく記入してください。 |
| 志望理由書(様式2) | 本研究科を志望する理由及び入学後の研究志望の概要を記入してください。 |

| | |
|----------------|------------------------------------|
| 受験承諾書（様式3） | 志望する分野・領域の担当教員が作成したもの |
| 受験及び修学承諾書（様式4） | 入学後も引き続き勤務する所属組織がある場合は、所属の長が作成したもの |
| 外国人留学生申請書（様式5） | 外国人志願者のみ提出してください。 |
| 宛名票（様式6） | 合格通知書等の送付先を記入してください。 |

④ 志願者自身が準備する書類

| 出願書類等 | 書類の説明 |
|---------------------------|---|
| 卒業証明書 | 出身学部の卒業証明書（本学医学部卒業者は不要） |
| 修士（博士前期）課程 修了（見込）証明書 | 出身大学院の修了（見込）証明書（本学医学系研究科修了（見込）者は不要） |
| 成績証明書 | 出身学部の成績証明書（厳封されたもの） 修士（博士前期）課程修了（見込）者は、修士（博士前期）課程の成績証明書も提出してください。 （本学医学系研究科修了（見込）者は不要） |
| 住民票の写し 又は パスポートのコピー | 外国人志願者のみ提出してください。現に日本国に在住し、かつ、「在留カード」又は「外国人登録証明書」をお持ちの方は、「住民票の写し」（居住している市区町村長が発行するもの）1通を提出してください。 それ以外の方は、「パスポート」のコピー（氏名、国籍、生年月日、性別が記載された部分及び日本国査証の部分）を提出してください。 |

(5) 受験票

受験票は、受験番号確定後にインターネット出願サイトからダウンロードします。システム上で登録された電子メールアドレスへ「受験番号お知らせメール」を送信しますので、必ず確認のうえ印刷してください。（白黒印刷可）

なお、印刷した受験票は、試験当日に必ず持参してください。

※ 「受験番号お知らせメール」に記載のURLから＜受験者心得＞にアクセスし、専攻の受験者心得を印刷・熟読し、必ず試験当日に受験票とともに持参してください。

※ 「受験番号お知らせメール」が試験日の1週間前になっても届かない場合は、速やかに入試事務室（出願書類提出先）にお問い合わせください。

5. 選抜方法等

入学者の選抜は、筆答試験（外国語（英語））、面接試問の結果及び出願書類等を総合して行います。

(1) 筆答試験については、辞書（医学用語辞典を含む。）の持ち込みを可とします。ただし、電子辞書及び辞書機能をもつ電子機器類は不可とします。

(2) 面接試問は、志望する専攻科目について行います。

試験日時・場所

| 期日 | 時間 | 試験科目等 | 試験場 |
|------------------|-------------|---------|-----------------|
| 令和3年 8月28日（土） | 10:00～11:30 | 外国語（英語） | 信州大学医学部 保健学科 |
| | 13:00～ | 面接試問 | |

6. 合格発表

令和3年9月2日(木) 10時

信州大学大学院医学系研究科ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、同日中に合格者に対し合格通知書を発送し、公式発表とします。

なお、電話やメール等での可否のお問い合わせには応じられません。

7. 入学手続

合格者は、次により入学手続を行ってください。なお、詳細については合格通知書に同封してお知らせいたします。

(1) 入学手続期間

令和3年9月6日(月)～9月21日(火)

(郵送の場合は簡易書留郵便とし、受付期間内に必着とする。)

受付時間 9時～17時(ただし、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けません。)

(2) 入学手続場所

信州大学医学部大学院係

〒390-8621 松本市旭3丁目1番1号

(3) 入学料の納入等

①銀行振込により所定の入学料を納入してください。

②既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。

③入学料・授業料の納入が著しく困難な方には、免除制度、徴収猶予制度及び月割分納制度(授業料のみ)があります。

(4) 手続に当たっての注意事項

入学手続締切り期日までに入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものととして取り扱います。

8. 追加合格

本研究科医学系専攻医学分野の募集(第2, 3次募集を実施する場合はその最後の募集)の出願締切り以降、入学希望者が医学系専攻の入学定員に満たないと判断される場合、追加合格を行うことがあります。

追加合格を実施する場合、総合医理工学研究科のホームページにて追加合格の実施についてお知らせするとともに、追加合格者には、3月31日までの間に、出願書類に記載されている「受信場所(志願者連絡先)」へ電話により直接連絡しますので、受験者本人に連絡がとれるようにしておいてください。

なお、就職等の手続きを既に行った方は必ず、令和4年4月以降に勤務する機関に、本学大学院への修学の承諾を得るようにしてください。

なお、本学からの連絡の際、再度にわたる電話連絡にも関わらず、追加合格候補者が不在等のため、本人の意思確認ができなかった場合や、すみやかに意思を表明しなかった場合は、入学の意志がないものとして取り扱うことがあります。

9. 障害等のある方の事前相談

この募集要項により本研究科に入学を志願する方で、障害等のために受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願の前に、書面により相談してください。

なお、重度の障害等のある方は、できる限り早い時期に相談してください。

詳しくは、本学のホームページ（入試情報ポータル／障害等のある方の事前相談：https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/consultation/index.html）をご覧ください。

(1) 提出期限 入学資格審査受付期間初日17時までに必着

(2) 提出先

信州大学大学院総合医理工学研究科（医学部大学院係）入試事務室
〒390-8621松本市旭3丁目1番1号 電話（0263）37-3376（直通）

(3) 提出期限後の不慮の事故等による場合の配慮

提出期限後に不慮の事故等により配慮が必要となった場合は、その際にご相談ください。

10. 注意事項

(1) 本分野に入学を希望する方は、あらかじめ志望するユニットの担当教員と研究内容等について相談のうえ、出願してください。

(2) 受理した出願書類及び検定料は、どのような理由があってもお返しできません。また、提出後の記入事項の変更は認めません。なお、検定料を誤って二重に振り込んだ場合又は振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合は、本人の請求により納入された検定料（二重に振り込んだ場合は重複して納入された分）の返還が可能です。返還手続については、本学のホームページ（入学検定料返還手続）をご覧ください。

(https://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/return/index.html)

(3) 出願手続後、現住所又は緊急連絡先に変更が生じたときは、速やかに信州大学医学部大学院係に連絡してください。

信州大学医学部大学院係入試事務室
〒390-8621松本市旭3丁目1番1号
電話（0263）37-3376（直通）

総合医理工学研究科（博士課程）医学系専攻保健学分野 入学案内

1. 標準修業年限 3年 ※

※【長期にわたる履修制度】

学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨を申し出たときは、最長で6年間、その計画的な履修が認められることがあります。

2. 履修方法・修了要件

本分野において3年以上在学し、研究科共通科目2単位（必修）、専攻共通科目4単位（必修2単位、選択必修2単位）、分野共通科目2単位（必修）、専門科目10単位（必修8単位、選択必修2単位）の合計18単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格しなければなりません。

3. 授与される学位

博士（保健学）の学位が授与されます。

4. 入学料・授業料

入学料 282,000円

授業料 （前期）267,900円 （後期）267,900円

金額は令和3年4月現在のものです。入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。納付金の額及び納付の方法については、合格通知書に同封しお知らせします。

なお、本学の大学院修士課程を修了し、引き続き博士課程に進学する方は、入学料を納付する必要はありません。

5. 奨学金

大学院学生を対象とした日本学生支援機構による奨学金制度があります。

貸与金額、申請手続き等の詳細は、日本学生支援機構のホームページをご確認ください。

(<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/seido/index.html>)

総合医理工学研究科（博士課程）医学系専攻保健学分野 研究案内

※ 各メールアドレスの後の「shinshu-u.ac.jp」を省略してあります。

| 専攻 | 分野 | ユニット | 担当教員 メールアドレス | 内容 |
|-----|-----|-------|--------------------|--|
| 医学系 | 保健学 | 母子保健学 | 金井 誠 makotok@ | [専門領域] 周産期医学, 地域医療, 臨床遺伝 [研究内容] 妊娠高血圧の病態解明と発症予知に関する研究, 早産回避の治療に関する研究, 地域における産科医療提供体制維持に関する研究, 出生前診断に関する研究 |
| | | | 玉井 真理子 mtamai@ | [専門領域] 臨床心理学, 生命倫理学 [研究内容] 周産期における親子関係構築に対する心理的援助, 遺伝医療における臨床心理学的介入の実際, 出生前診断と中絶をめぐる生命倫理, 重症新生児の選択的治療停止問題と生命倫理, ニューロエシックス, ほかに生命科学技術関連の倫理問題全般 |
| | | 成人保健学 | 木村 貞治 tkimura@ | [専門領域] スポーツ理学療法, 運動学習, 虚弱高齢者の運動指導 [研究内容] スポーツ選手に対するスポーツ理学療法の介入効果に関する研究や, その背景にある神経生理学的特性の変化についての研究を行っている。運動学習では, 脳の機能的特性に基づいた理学療法の方略についての検討を行っている。虚弱高齢者の運動指導では, 継続的な運動指導の在り方やその効果についての研究を行っている。 |
| | | | 百瀬 公人 kmomose@ | [専門領域] 運動学, 呼吸循環の理学療法, 急性期の理学療法 [研究内容] 1) 3次元動作解析装置, 筋電図, 床反力計, 加速度計などを用いた健常者および障害者の動作解析, 2) 呼吸・循環器障害の治療における理学療法とその効果, 3) 中枢神経系疾患における急性期の理学療法のありかた, 4) 理学療法の評価法などに関する研究を行っている。 |
| | | | 小林 正義 mkobaya@ | [専門領域] 精神障害作業療法学, 精神障害リハビリテーション学, 認知行動科学 [研究内容] 1) 精神障害の早期リハビリテーション・早期作業療法・地域生活支援技術に関する研究, 2) 統合失調症とうつ病の認知行動療法に関する研究, 3) 自動車運転技能に関連する認知行動評価に関する研究, などを行っている。 |
| | | | 池上 俊彦 tikegami@ | [専門領域] 外科学, 地域医療 [研究内容] 肝移植を受けた患者におけるQOL改善のための研究や病診連携・病病連携に関する研究 |
| | | | 伊澤 淳 izawa611@ | [専門領域] 循環器内科学: 動脈硬化, 心不全, 高血圧 [研究内容] 心血管疾患の発症予防(一次予防), 地域の自治体および医師会との連携による疫学研究: 青少年の生活習慣病予防, 歯周疾患と全身疾患の関連について |
| | | | 下里 誠二 sshimos@ | [専門領域] 精神看護学 [研究内容] 精神科における攻撃性とその看護に関する研究, 司法精神看護における評価に関する研究, 精神障害者のリハビリテーションとその看護に関する研究を行っている。 |
| | | | 新井 清美 k_arai@ | [専門領域] 成人看護学, アディクション [研究内容] 大学生や一般成人, アスリート等のアディクションのリスクを調査し, 対象やリスクレベルに応じたアセスメントツールの開発に取り組んでいる。また, 人の特性や習慣に応じた行動変容のための予防的アプローチとその評価を行っている。成人看護の対象となる人々の支援を検討するため, 質的・量的研究手法を用いた研究に取り組んでいる。 |
| | | | 西澤 公美 hitnishi@ | [専門領域] 神経筋疾患, 筋疲労, 小児の理学療法 [研究内容] 神経筋疾患の筋疲労や活動量に関する研究や, ロボットスーツ HAL を使用した筋ジストロフィーの運動機能等の変化について研究を行っている。 |
| | | | 野嶋 一平 nojima@ | [専門領域] 神経系理学療法, 医療健康データ科学 [研究内容] 脳を中心とする神経活動を可視化することで, 脳卒中患者などに対する新しいリハビリテーションの開発を目指している。特に, 非侵襲脳刺激手法を取り入れ, 脳の可塑的变化による行動変容に着目している。また保健医療分野におけるコホート研究のデータ解析や, 自治体との共同研究を通じた予防医療への参加も積極的に行っている。 |

| | | | | |
|--------------------|--|-------------------|---|--|
| 医学系 | 保健学 | 老年保健学 | 上村 智子 tkamimu@ | [専門領域] 作業療法学, 生活支援科学, 高齢者のリハビリテーション [研究内容] 脳卒中や認知症疾患などの加齢性疾患を有する人のリハビリテーションプログラムの開発と標準化の研究を行っている。研究対象は福祉用具や住宅改修と動作学習を組み合わせたプログラムとプログラムの成果評価の開発である。入院・入所から在宅へのスムーズな移行と在宅生活の継続を促すシステム構築に資する研究を行う。 |
| | | | 會田 信子 aida@ | [専門領域] 老年看護学 [研究内容] 1) 高齢者ケア実践・技術に関する研究, 2) 高齢者ケアに従事するスタッフの心理・社会的課題に関する研究, 3) 老年看護学における教育方法や課題に関する研究, 4) 多職種連携教育の方法論と評価に関する研究 |
| | | | 杉山 暢宏 nsugi@ | [専門領域] 精神医学, 神経内分泌学, 性差医学 [研究内容] うつ病, 躁うつ病の発症メカニズムを, 神経内分泌学的な視点から研究している。特に女性ホルモンの神経系への作用に注目して, 医学部精神医学教室や医学部附属病院精神科と共同で検討している。 |
| | | | 横川 吉晴 fhakuba@ | [専門領域] 健康科学, 公衆衛生学, 高齢者に対する理学療法 [研究内容] 高齢者の障害の発生の遅延, 活動能力の保持を目的として, 農村部を対象として縦断的に調査, 介入を行い, その評価の研究を行っている。特に転倒予防プログラム, 筋力向上トレーニング, 認知機能維持向上のための二重課題運動プログラムをテーマに活動している。 |
| | | | 務臺 均 hitmutai@ | [専門領域] 身体障害作業療法学 [研究内容] 1) 脳卒中や整形疾患に対するリハビリテーションの効果や長期予後に関する研究, 2) 脳卒中に合併する精神症状, 疲労および認知機能障害に関する研究。 |
| | | | 佐賀里 昭 sagaria@ | [専門領域] 作業療法学, がん作業療法学 [研究内容] がん作業療法のエビデンス構築に向けた研究に取り組んでいる。がん患者に対する Goal setting や Occupation-based intervention の有用性の検証, 化学療法誘発性末梢神経障害に対するアプローチ開発など。 |
| | 医療生命科学 | 太田 浩良 hohta@ | [専門領域] 診断病理学 (消化管病理), 組織化学 [研究内容] ヘリコバクター感染により惹起される消化管粘膜病変の病態解析および消化管粘膜への分化を示す腫瘍 (胃腸型腫瘍) の組織発生と診断について, 組織化学的方法論を中心に, 分子生物学的な方法論等も取り入れ研究を行っている。 | |
| | | 寺田 信生 nobot@ | [専門領域] 蛋白複合体からみた生体の構造解析; 解剖学-組織学-細胞生物学 [研究内容] 細胞の接着やシグナル伝達に関わる, 細胞膜内~膜骨格における構成蛋白を同定する。それら蛋白複合体の, 生体機能を反映した局在や蛋白間の相互関係さらに個体レベルでの機能を検討しながら, 人体における役割を明らかにする。そのために形態学・細胞組織化学・生化学・分子細胞生物学の基本的な手技を修得して自由に使えるようにし, さらに顕微鏡によって可視化する解析法の開発も行う。 | |
| | | 石田 文宏 fumishi@ | [専門領域] 血液学, 血液検査学 [研究内容] 血液腫瘍性疾患, 特に悪性リンパ腫を対象に, 遺伝子異常と臨床病態の関連を明らかにするための研究を行っている。また, 血液細胞形態や血栓止血領域での新規検査法開発を目指した研究を行っている。 | |
| | | 長野 則之 naganon@ | [専門領域] 薬剤耐性菌制御学, 感染制御学, 病原微生物学 [研究内容] 新生児や高齢者の B 群レンサ球菌侵襲性感染症の第一選択薬であるペニシリンに耐性を獲得したペニシリン低感受性 B 群レンサ球菌の分子学的解析を行っている。また, 世界的な蔓延が懸念されている薬剤耐性グラム陰性桿菌を中心に薬剤耐性メカニズムの解析や分子疫学的解析および病原性解析などを行っている。 | |
| 矢崎 正英 mayazaki@ | [専門領域] 神経内科学, 代謝学, 蛋白化学 [研究内容] アミロイドーシスの新規診断法開発。微小生検組織からのアミロイド蛋白の解析法の確立と病態解析への応用。 | | | |

| | | | | |
|-----|-----|--------|---------------------|--|
| 医学系 | 保健学 | 医療生命科学 | 松田 和之 kmatsuda@ | [専門領域] 遺伝子・染色体検査学 [研究内容] 1) 遺伝子変異・SNP を標的とした定量 PCR 法を用いて、病原体の鑑別や腫瘍細胞の量的変化のモニタリングなどの臨床応用を行っている。2) 遺伝子改変技術を用いて白血病や線維症などの難治性疾患について発症や病勢進行のメカニズムを明らかにし、病態を把握できる新規マーカーの探索を行っている。 |
| | | | 安尾 将法 yasumasa@ | [専門領域] 呼吸器内科学, COPD, 喘息, 呼吸器内視鏡診断・治療 [研究内容] 1) COPD 患者検体を使用した分子生物学的研究 (炎症, アポトーシスなど)。2) 喘息・COPD 患者の呼吸機能や画像に関する臨床研究。3) 呼吸器内視鏡 (気管支鏡) を用いた診断技術や治療技術の開発。 |
| | | | 山内 一由 yamauchi@ | [専門領域] 臨床化学検査学 [研究内容] 動脈硬化症やアルツハイマー病の発症および病変形成におけるアポリポ蛋白 E の翻訳後修飾, 特に酸化修飾の病態生理学的意義を明らかにするため, 臨床化学的手法および分子生物学的手法を用いて研究を行っている。 |
| | | | 青木 薫 kin29men@ | [専門領域] 整形外科学, リハビリテーション医学, 骨軟部腫瘍医学, バイオマテリアル開発 [研究内容] 1) 整形外科・リハビリテーション・骨軟部腫瘍の臨床研究, 2) 骨軟部腫瘍の治療法の開発, 評価, 3) 整形外科領域新規バイオマテリアルの開発, 生体安全性評価などについての研究を行っている。 |
| | | | 木村 文一 kimura_f@ | [専門領域] 細胞周期関連タンパク, 細胞増殖因子, 画像解析技術 (テキスト解析, 機械学習) [研究内容] 悪性腫瘍や前癌病変などの病理組織・細胞診標本に対して, 発癌や予後に関与するタンパク質のメカニズムを, 免疫組織・細胞化学や遺伝子および AI 技術を用いて解き明かすようとする研究を行なっている。 |
| | | | 樋口 由美子 sasa0922@ | [専門領域] 免疫検査学 [研究内容] 1) 好中球 Netosis を臨床検査で検出できるように新規検査法を開発している。2) 血液疾患における病態発症のメカニズムを解明するために, iPS 技術を用いて免疫学的観点から研究を行っている。 |

この募集要項に関する照会先

信州大学医学部大学院係

〒390-8621 長野県松本市旭 3 丁目 1 番 1 号

TEL 0263 (37) 3376 (直通)

FAX 0263 (37) 3080

信州大学大学院総合医理工学研究科ホームページ

<https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/sogoiriko/>

※個人情報の利用について

信州大学における入学試験を通して取得した個人情報については、入学試験のほか次の目的のために利用します。

- ① 入学手続
 - ② 学籍管理
 - ③ 学習指導
 - ④ 学生支援関係業務
 - ⑤ 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究
- なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。